

市民で創る創作劇

Flowers in the Window

フラワーズ・イン・ザ ウィンドウ

演劇が生まれる場所

自分は札幌でなんだかんだと30年演劇づくりをしてきたわけだが、
いまだに演劇というものの謎を解き明かせないでいる。
人間が、別の誰かの振りをする。その行為がどうしてこんなに面白く、可笑しく、胸に迫るように感じられるのか。
俳優の演技力の問題ではない。技術が足りなくても、観る人を惹きつける演劇は存在する。映像には変えられないこの魅力の謎を、いまだに掴みきれない。

「誰の人生にもドラマがある」よく言われるフレーズだ。
でも大体の人はそう言う。「でも、私の人生には語るようなドラマはない」とも言う。
今回集まってくれた深川市民劇のメンバーにしてもそうだ。
「人に話すほどのエピソードはない。」みな口々にそう言った。
そうではない。
人に話すほどのエピソードではないかもしれない。しかし人前で上演するのはまた全然別な話である。
人に話すほどではなかったエピソードが、舞台上で演じられると見せるに足るエピソードになる。
そこに謎の力が、演劇の魔法が宿っている。

集まってくれたメンバーからこの街の暮らしのエピソードを集め、舞台を作っています。
10月現在、どんな舞台になるかはまだ全く想像が付きません。

ただ、この街でしか生まれたい舞台になるでしょう。
タイトルは「フラワーズ・イン・ザ・ウィンドウ」にしました。

ぜひ劇場に足をお運び下さい。

演出・監修 弦巻啓太(劇団弦巻楽団)



CAST・STAFF(五十音順)

池田 由美子 岡安 良子 菊地 清大 佐藤 大吾 式部 南美 島田 裕之
野原 綾華 服部 智子 古崎 あかね 宮田 千晶 脇 慎一郎 渡邊 美空



弦巻 啓太 Keita Tsurumaki



弦巻楽団代表。脚本、演出。
1976年6月6日生まれ。札幌市出身。辰年、双子座。動物占いは「粘り強いひつじ」。
拓殖大学北海道短期大学非常勤講師。クラーク記念国際高校大通キャンパス演劇表現コース講師。立命館慶祥中学校クラブ活動指導員。一般社団法人日本演出者協会会員。現在、日本演出者協会主催若手演出家コンクール審査員を務める。
分かりやすく、奥深い豊かな舞台を心がけ創作。演技指導や演劇文化の普及においても手腕を高く評価され、全国で活動を行なっている。
若手演出家コンクール2014 最優秀賞受賞(『四月になれば彼女は彼は』)。